



交通みやぎ

交通安全協会は、交通事故“ゼロ”をめざし、限りなく歩みつづけるボランティアの団体です。

2014/第181号

発行

一般社団法人宮城県交通安全協会
(宮城県交通安全活動推進センター)
〒980-0011 仙台市青葉区上杉一丁目2番3号
☎ 022 (223) 1130
http://www.miyagi-ankyoku.or.jp

新年あけまして おめでとうございます。

皆様には、希望に満ちた新春をお迎えのことと謹んでお慶び申し上げます。

また、平素から地区交通安全協会の皆様はじめ地域のボランティア、関係機関・団体の皆様方には、地域における交通安全活動の各般にわたり献身的なご尽力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

さて、当協会も、昨年4月1日に一般社団法人に移行し、新たな決意で交通安全事業に取り組んできたところでございますが、県下の交通情勢は、地区交通安全協会並びに関係機関・団体が、地域や職場を挙げて交通安全対策を強力に推進してきたことにより、交通事故発生件数、負傷者ともに減少させたものの、交通死亡事故につきましては、昨年を大きく上回る結果となりました。

当協会といたしましては、これらの厳しい交通情勢を直視し、県警察をはじめ、関係機関・団体並びに地域のボランティア等の皆様方と、交通事故防止に関する情報の共有や緊密な連携により、飲酒運転を根絶するための「ハンドルキーパー運動」の推進、子どもや高齢者などの交通弱者保護意識を醸成するための「体験型交通安全教室」等への参加、急増している自転車事故防止対策として「交通ルールと交通マナーの向上」を図ることなどを重点とし、その他の諸対策も積極的に展開し、「安全で快適な交通社会」の実現に努めて参る所存であります。

どうか、皆様方におかれましては、今後とも交通安全協会の活動にご理解をいただき、一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、会員の皆様並びにご家族皆様のご健勝、ご多幸を祈念し、年頭の挨拶といたします。

謹賀新年



一般社団法人宮城県交通安全協会
会長 早川 二郎

各地区交通安全協会長

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----------|-----------|----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|----------|-----------|------------|-----------|-----------|-----------|------------|-----------|-----------|----------|-----------|---------|------------|------------|------------|------------|
| 熊澤 勇(亘理) | 二階堂 元(角田) | 齋藤 好(白石) | 尾本 三雄(柴田) | 佐々木浩章(加美) | 尾形 嘉瀧(玉造) | 佐々木 進(築館) | 三浦 勝男(若柳) | 金成 久(遠田) | 柳川 孝行(古川) | 菅原 塚夫(南三陸) | 日野 清志(河北) | 後藤 正士(登米) | 大久保榮志(佐沼) | 佐藤 三樹(気仙沼) | 小坂 享正(石巻) | 早坂 繁利(黒川) | 渡邊 繁(名取) | 大場 喜藏(塩釜) | 三浦 忠(泉) | 山下 晴也(仙台東) | 菊田 浩之(仙台北) | 佐藤 嘉郎(仙台南) | 阿部 邦彦(仙台中) |
|----------|-----------|----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|----------|-----------|------------|-----------|-----------|-----------|------------|-----------|-----------|----------|-----------|---------|------------|------------|------------|------------|



一般社団法人宮城県交通安全協会
専務理事 鮫名 満

緊密な連携による、 官民一体の事故防止

宮城県警察本部長
横内 泉



謹んで新年の挨拶を申し上げます。

皆様方には、日頃から交通安全活動に御尽力いただきますとともに、警察行政の各般にわたり、深い御理解と多大な御支援をいただいておりますことに対し、厚く御礼を申し上げます。

さて、平成25年中の県内の交通事故情勢につきましては、皆様方の御尽力により、交通事故の発生件数、負傷者数は減少したものの、残念ながら7月から8月にかけて連続して車両同士の正面衝突事故が多発し、死者数が増加に転じ、県知事による「交通死亡事故多発緊急事態宣言」が2か月にわたり発令されるなど大変厳しい年となりました。

昨年の交通死亡事故の特徴は、緊張感を欠いた漫然運転が原因と思われる事故や高齢者の方が被害者となった事故が増加したほか、飲酒運転等の悪質違反により尊い命が犠牲となる事故が依然として発生するなど、近年になく厳しい状況でありました。

こうした情勢を踏まえ、警察といたしましては、宮城県が策定した第9次5か年計画の終盤を迎え、「平成27年までに交通事故死者数を60人以下とする」との目標を達成するため、引き続き、交通事故死者の減少を目指して、これまで以上に綿密な事故分析のもと、よりきめ細かな高齢者対策・飲酒運転根絶対策等を一層推進して、安全で快適な交通社会の実現に向けた活動を強化することとしております。

もとより、交通死亡事故抑止は、ひとり警察のみで達成できるものではなく、関係機関・団体との緊密な連携による官民一体となった取組が不可欠であります。

交通安全協会の皆様には、引き続き地域や職場に密着した各種交通安全活動を積極的に推進していただきますようお願い申し上げます。

結びに、皆様方のますますの御活躍と御健勝、御多幸を祈念いたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。

地域に根ざした活動に なお一層の御尽力を

宮城県知事
村井 嘉浩



新年を迎えるに当たり、皆様の御健勝を心からお祈り申し上げます。

さて、東日本大震災から2年9か月余りが経過しました。この間、多くの方々からの御支援のもと、全力で復旧・復興に向けて取り組むとともに、交通安全対策をはじめ、県民の皆様の安全・安心の確保に努めてまいりました。

しかし、昨年県内では、夏期に交通死亡事故が連続発生したため、県は「交通死亡事故多発緊急事態」を宣言し、交通事故防止活動に取り組みましたが、残念ながら、近年減少傾向にありました交通事故死者数が増加に転じ、前年を上回る結果となりました。

悲惨な交通事故を無くすため、県としては、交通安全思想の普及・高揚を図り、安全で快適な交通社会の実現に向け、「マナーアップみやぎ運動」をさらに推進してまいります。

皆様におかれましても、今後とも地域に根ざした交通安全活動になお一層の御尽力を賜りますようお願い申し上げます。

年頭に当たり、貴協会の御発展と会員皆様の益々の御健勝、御多幸を心からお祈り申し上げ、新年の挨拶といたします。



スリップ事故防止へ万全に!



冬道の安全運転5則

- 1 **しっかり減速**
スピードは、夏場より10キロ以上減速!
- 2 **車間距離にゆとり**
車間距離は路面乾燥時の2倍以上確保
- 3 **「急」はダメ**
急加速、急ブレーキ、急ハンドルなどの急激な操作は禁物!
- 4 **早めに徐行**
視界不良時は前方をよく見て、早めに徐行!
- 5 **追い越し注意**
無理な追い越しは禁物!

交通安全運動へのご貢献に感謝

平成25年度 交通安全功労者等表彰式

11月13日(水)、宮城県警察本部・宮城県交通安全協会が主催する平成25年度交通安全功労者等表彰式が行われ、次の団体・個人が表彰されました。



宮城県警察本部長・ 宮城県交通安全協会会長連名表彰

- ◆交通安全功労者 40名
- ◆一般優良運転者
 - ・交通荣誉金賞 101名
 - ・交通荣誉銀賞 119名
 - ・交通金賞 84名
- ◆交通安全功労団体
 - ・優良地区交通安全協会 14団体
 - ・交通安全功労団体 12団体
 - ・交通安全優良学校 14校

全日本交通安全協会会長表彰

- ◆交通荣誉章 緑十字銅章
 - ・交通安全功労者 47名
 - ・優良運転者 61名



地区交通安全協会 交通事故防止対策コンクール表彰

- ◆優秀地区交通安全協会
 - 仙台北・名取・気仙沼・遠田・玉造
- ◆優秀支部
 - 仙台南地区生出支部ほか 5支部
- ◆優良地区交通安全協会
 - 塩釜・亘理
- ◆優良支部
 - 石巻地区石巻支部ほか 3支部

東北管区警察局長・ 東北交通安全協会会長連名表彰

- ◆交通安全功労者 23名
- ◆優良運転者 37名
- ◆交通安全功労団体 2団体
- ◆交通安全優良学校 4校

荣誉に輝くご功労を讃えて 交通荣誉章表彰

第54回交通安全国民運動中央大会(1月17日(金)・日比谷公会堂)において表彰式が執り行われ、本県から次の方々を受賞されます。(敬称略)



緑十字銀章

交通安全功労者

- 栗原 茂 (泉地区)
- 遠藤 秀男 (塩釜地区)
- 内形 房雄 (塩釜地区)
- 阿部 俊夫 (若柳地区)



緑十字金章

交通安全功労者



二階堂 元 (角田地区)



中鉢 勲 (玉造地区)

優良運転者



大場 新記 (築館地区)

優良運転者

- 相澤 正利 (仙台南地区)
- 小室 福雄 (仙台南地区)
- 高橋 幸弘 (仙台南地区)
- 遠藤 孝雄 (気仙沼地区)
- 尾上 正治 (古川地区)
- 丹野 良一 (白石地区)

交通安全優良団体

白石地区交通安全協会永野支部

交通安全優良学校

仙台市立南吉成小学校

優良交通安全協会

気仙沼地区交通安全協会

めざましい健闘に拍手! 第9回 交通安全高齢者自転車宮城県大会



10月5日(土)、第9回交通安全高齢者自転車宮城県大会が宮城広瀬体育館にて開催されました。各地区より65歳以上の高齢者21チーム72人が出場し、自転車の安全な乗り方を競いました。結果は次の通りです。

- | | |
|--------------|---------------------|
| ■団体の部 | ■個人の部 |
| 1位 柴田チーム | 1位 笠松 清 (遠田チーム) |
| 2位 登米Aチーム | 2位 高橋 正記 (登米Aチーム) |
| 3位 遠田チーム | 3位 佐々木 美喜夫 (登米Aチーム) |
| 4位 黒川チーム | 4位 後藤 司郎 (柴田チーム) |
| 5位 佐沼Aチーム | 4位 千葉 正参 (泉チーム) |



年末年始も、 ストップ・ザ飲酒運転!

■ハンドルキーパー運動

「飲まない人」が「飲んだ人」を送る



飲み会が始まる前に、ハンドルキーパー(飲まずに車で送るドライバー)を決めて、飲酒運転を追放しましょう!

みやぎ・交通メモ

- 県内の車両保有台数 (平成25年 8月末現在)
1,649,490台 (原付は含みません)
 - 県内の運転免許人口 (平成25年11月末現在)
1,526,716人 (男性 847,683人・女性 679,033人)
 - 県内の交通事故 (平成25年11月末現在)
 - 人身事故 8,862件 (-404件)
 - 死者数 81人 (+23人)
 - 負傷者数 11,402人 (-505人)
- ※()は前年同期対比です。件数、負傷者数は概数です。

平成26年 全国交通安全年間スローガン

● 運転者(同乗者を含む)へ呼びかけるもの

発進は **チャイルドシートの 笑顔見て**

● 歩行者・自転車利用者へ呼びかけるもの

いい老後 **元気生きがい 交通安全**

● こども部門(小・中学生へ交通安全を呼びかけるもの)

につぼんを **じまんしようよ 事故ゼロで**

交通安全運動 各地区協会の活動レポート

わたしたちの地区協会では、こんな活動を実施しました。

●あなたの会費で、充実した交通安全活動が展開されています。

仙台南地区



「交通安全かかしまつりコンテスト」を通じ、事故防止活動の展開

仙台北地区



夏休み期間中の、紙芝居による出前式交通安全教室の開催

泉地区



交通安全フェスティバルの開催

黒川地区



信号機に見立てた赤・青・黄の餅をドライバーに配り、事故防止の呼びかけ交通安全・安心長もち(餅)作戦

南三陸地区



主要国道において幼稚園児らがドライバーにタコのマスコットを配り、交通安全を呼びかける「幼稚園児ほほえみ作戦」

佐沼地区



地区高齢者交通安全自転車大会の開催による自転車事故防止啓発

登米地区



子どもたちが、ドライバーにリンゴを手渡し事故防止を呼びかける「交通事故防止リンゴ作戦」

河北地区



夏の交通安全事故防止街頭キャンペーン「交通安全「涼風」作戦」

若柳地区



子どもたちも参加しての交通事故防止街頭パレード

築館地区



ドライバーにトマトを配り、事故防止を訴える交通事故「トマト」作戦街頭キャンペーン

角田地区



「交通事故死ゼロを目指す日」街頭キャンペーン

亘理地区



反射材による高齢者の事故防止と街頭キャンペーン

交通安全活動の写真をお寄せください。

各地区で実施された、交通安全活動中のスナップ写真やユニークな交通安全広報グッズの写真など、事務局までお送りください。